

定額 一冊五錢 一週五錢 一月一元二角 三月三元五角 半年六元 一年十二元

郵税 五厘

印刷 五厘

紙料 五厘

日刊 常新新聞

十月十四日夕刊

本社印刷部 (電話六三〇番)

印刷部 (電話六三〇番)

電話六三〇番

**人間の去勢**

常警毎日新聞

平町 S K 生

余輩は述べんとする人間の去勢とは馬の如くに去勢するの意味にあらずして人間の精神的動作的去勢を謂ふ

精神的去勢をせられし人又は自然的去勢を受けた人は非凡の者はイザ知れず普通人は公に活動力を失ふ筆者はこの去勢を神の悪戯よりして本春突然に與へられて今や全く人間の活動力を減失し新進の氣風なく他人と對抗して勝負を決する勇氣

君は、いゝ型の洋服を求めたね!!!

眺かへ?

いや君、コレはいや君、コレは例の「ソレ」

正札堂

壇に立って居る各先生の行動に道に於て面會するの悦ばしさは到底筆舌には盡くし得ぬ増してや知己なる諸先生に於てマヤダ

今後自分は及ばずながらも國家教育餘り大きいが小學校教育のためには不肖をも顧みずして一生大いに盡くすべき積もりである



**妖雲** 十一卷 全部上映

山下澄子、静香八郎、花木薫、オールスター五百名助演

マキノトウ、特作中根龍太郎、原案監督、満洲大ロケション

津村博、松浦築枝、都賀静子、主演

**戀の守備兵** 十卷

保世、カルメン、ソニヤ、紅蘭を圍つて紅情の綾は織らる蓋しマキノ近來ノ傑作

大衆作家長谷川伸原作、萬花地獄にてその劍妙を演ぜ仇敵哀史に全十巻上映

**敵討鎗諸共**

市川小文治、天野及一、共演

帝キネマキノ百々之助映畫

**有聲座**

種々、信譽、國內、藥局

毛糸製品各種 取揃へました

新柄セーター 部 腰 卷

肌 シヤツ 首 卷

其他期節 用品澤山

**ツルヤ**

平四、電一四〇

**御料理開店披露**

**鳥、牛、豚……鍋**

簡潔で上品な氣の利いた料理を廉價にて差上げます

文化的な平土間より二階三階迄ご開放して有りますから御隨意に御利用下さい

どこまでも親切丁寧を以て奉仕的の努め

平町仲田町角(舊郡役所通)

**福 壽 美**

(元福住館) 電話四四五番

**外科 門 專**

入院應需

**上田外科醫院**

平町 南町

電話一二九番

町平 吉田眼科醫院

十月十五日より廿五日迄

三井呉服店の冬衣大賣出し

新館陳列 營業大擴張 商品豊富

御祝儀物一式 江戸袴京染金貳拾圓より

本秋の新柄モスリン着尺階上陳列仕候間是非御來觀の程希上候

おつとめ特價品

ニコ(大島) 壹圓

別染正紺縞 壹圓五拾錢

布 團 縞 七拾五錢

本かへき羽裏 壹圓八拾錢

着尺モスリン 參圓八拾錢

外に破格品山の如し

**三井呉服店**

平三丁目(電話三八番)

別珍足袋 貳拾五錢 一萬足限り

白キヤラコ 貳拾錢 五千足限り

黒朱子 參拾五錢 五千足限り

從五位勳四等白井遠平 永々病氣の處本月九日 午後四時死去致候に付

此段謹告仕候

追而葬儀は平町字南町新道に齊場を設け十五日午前十時より午後一時迄相營み可申候

本廣告を以て御通知に代へ申候

昭和二年十月十日

嗣子 白井博之

親戚總代 白井菊造

男爵 田中義一

高橋是清

川崎六右衛門

小林富吉

安島重三郎

山崎與三郎

諸橋久太郎

正札堂

平町車場通

秋色漸く、蕭殺たらんとする舊城趾畔平驛頭に雲集する多数出迎ひを受け

秋雨蕭條の平驛頭 白井翁の遺骨到着

郷黨後進痛惜の裡に今や東嶺の雲ふかく隠れた偉人白井遠平翁の遺骨は昨報の如く昨十三日午前十一時在京

設を急ぎつゝ、あも葬儀場を除き準備萬端遺憾なく手筈を了した。南裏埋立地の葬

安島委員長以下 葬儀委員 各受持定まる

田鎮政二、口武義、麻生川顯、志賀又吉、山崎千朝、河西八十治、淺野英男、吉野禮恭、小野菊彌、牧田豊

品川白煉瓦株式会社では十日午後三時突如湯本町支工場

全従業員の態度決す 直接行動に出で、堂々と戦はん

小名濱港の第二種重要港灣指定並に修築計畫案付議の臨時港灣調査會は既報の如く十八日午後一時より内相官邸において開會さるゝこ

五人殺事件 第二回公判 十五日に開廷

調査委員 顔觸れ 中央と地方 同調査委員會の顔觸れは中央委員として

協議し 他まで會社に向つて抗議を爲すべく決議したらしいが十四日早朝

結局は 品川白煉瓦會社は收支が償はない爲め一般的に事業を縮小する方針であつた矢先

雨具類の始末 (下) 履物類——足駄は齒を洗つて泥を落し爪皮を洗つて

募集 文藝其他投稿を募集します

ちみも 澤山のトンネルにさまたげられてはゐるが絶景地帯を思ふ存分さぐるこ